

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書


- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京田辺市立薪小学校 】

| | |
|---------------|--|
| 1 実践テーマ | 【 I・III・V 】 |
| 2 実施対象者 | 京田辺市立薪小学校 5年生・6年生 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 ① 教科名 (体育) |
| 4 目標 (ねらい) | <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの意義を理解し、スポーツを通じたインクルーシブな社会の構築に貢献しようとする児童の育成。 ・スポーツに関する興味関心を高め、生涯スポーツにつながるスポーツを楽しむ心の育成。 ・オリンピックやパラリンピックの意義や歴史や開催種目等を知ることにより、オリンピック・パラリンピックへの関心を高め、夢に向かって努力したり、困難を克服しようとしたりする意欲を培う。 |
| 5 取組内容 | <ol style="list-style-type: none"> オリパラ推進校プロジェクト組織確立（5月） <ul style="list-style-type: none"> ・研究内容整理 オリパラ実施計画の作成（6月） <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画作成 オリンピック・パラリンピックの理念・歴史等についての調べ学習・発表・交流【5・6年】（7月～11月） <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックに意義について ・パラリンピックの種目について ・競技に打ち込むアスリートの思いや努力について |



| | |
|-----------------------------|--|
| | <p>4 ボッチャ体験学習【5年】(11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ体験学習のねらいについて ・ボッチャのルール及び競技のおもしろさについて ・ボッチャ体験 ・ボッチャを体験して  |
| <p>6 主な成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの理念・歴史等についての調べ学習を通して、オリンピック・パラリンピックの意義に対する関心が高まり、各競技種目やアスリートについてさらに追究したいという意欲が高まった。 ・オリンピック・パラリンピックについての調べ学習に取り組んだことで、興味・関心を持って東京オリンピック・パラリンピックを観戦する(テレビ)ことができた。また、選手のインタビュー等でアスリートの思いや努力について知り、自身の生き方について考えを深める機会となった。 ・オリンピック・パラリンピックについて調べたことを発表・交流することで、児童の知見を広げ、スポーツを楽しもうとする態度の育成につながった。 ・「ボッチャ」の体験学習の前に、「ボッチャ」とはどういった競技であるのかを動画等を見ながら学習したことで、児童の興味・関心を高め、見通しを持って体験学習に取り組むことができた。 ・「ボッチャ」の審判を児童が交代制で行うことにより、試合を行う対象に応じて、ルールの変更や工夫により楽しむことを知ることができた。また、「ボッチャ」は、障害有無や年齢に関わらず楽しむことのできるスポーツであることを知ることができた。 |
| <p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの理念・歴史等についての調べ学習を東京オリンピック・パラリンピックの開催前後に取り組んだことで、児童の興味・関心が高まった。 ・「ボッチャ」体験学習において、児童が審判を行うことで、「ボッチャ」についての理解が深まった。 |
| <p>8 主な課題等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・講師(選手)を招聘して、実際にスポーツを体験したり、選手の競技に対する思いや願いについて聞いたりすることが新型コロナウイルス感染症対策のために中止になった。 |
| <p>9 来年度以降の実施予定</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・各教科・領域と関連させ、継続・発展させて取り組む。 ・講師(選手)を招聘して、実際にスポーツを体験したり、選手の競技に対する思いや願いについて聞いたりする取組を行う。 ・「ボッチャ」の体験学習を継続していく。 |